

ダブルブラウザ・ソリューション

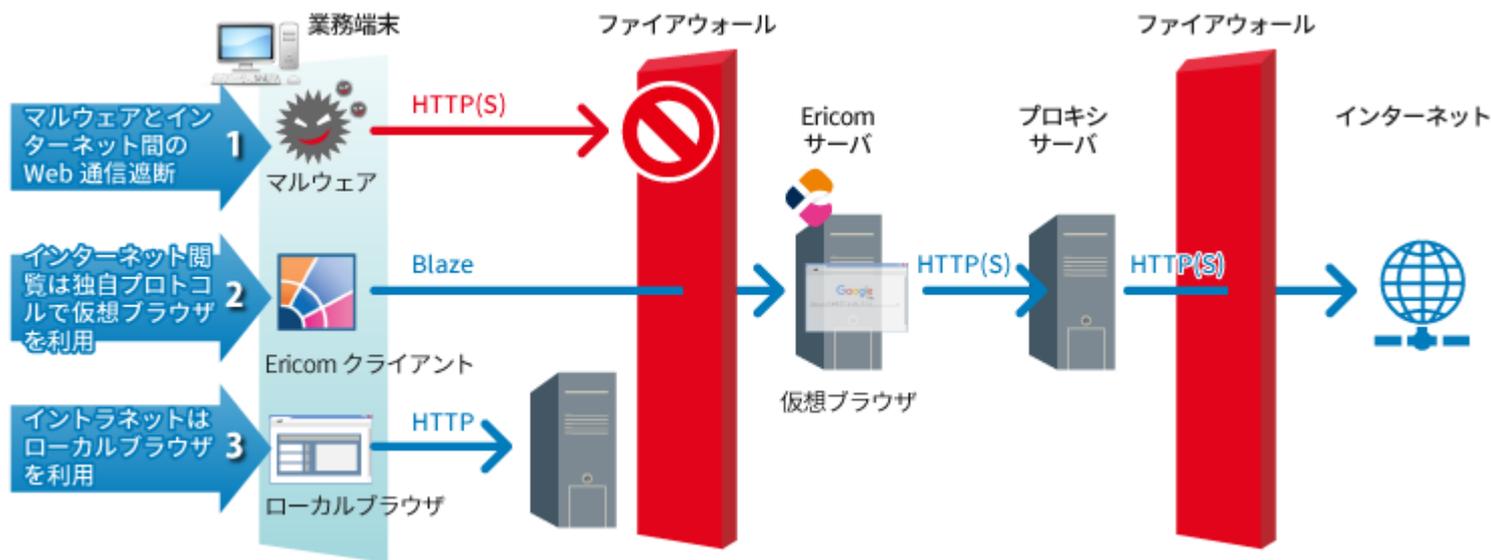
ダブルブラウザ・ソリューションは、Ericomの仮想化技術を用い業務端末からインターネットアクセス環境を分離します。
社外とのHTTP/HTTPS通信を遮断し、標的型攻撃を無効化できます。

政府やIPAも業務端末のインターネットからの分離を推奨

2015年6月以降、日本政府やIPA（独立行政法人情報処理推進機構）は相次いで、業務端末をインターネット環境から分離する方法を推奨しています。

- ✓ 2015年6月2日
IPAは、多層防御の一環として、インターネットが接続する一般の端末と重要業務システムとの分離を推奨
- ✓ 2015年7月23日
政府は、「サイバーセキュリティ戦略」の見直し案の中に、重要情報を扱う政府機関の情報システムをインターネットから分離する対応策を盛り込む方針を固めた
- ✓ 2015年8月12日
総務省は、日本年金機構の個人情報流出問題を踏まえた緊急対策として、各自治体の住民基本台帳システムとインターネット用の端末とを完全に分けるよう求めた

ダブルブラウザ・ソリューションの仕組み



ダブルブラウザ・ソリューションの優位性

- ① 物理的なネットワーク分離に比べて安価
ネットワーク回線の2重化工事やインターネット接続用PCの追加購入が必要ありません。
- ② Ericomで安価に実装
他社クライアント仮想化製品に比べて1/2~1/3の価格です。
- ③ MicrosoftのRDS CALが不要なLinuxブラウザ方式も選択可能
Windowsベースの仮想化の場合、クライアント仮想化製品ライセンスの他にRDS CAL（¥12,000~¥15,000/ユーザ）が必要です。



ソリューション機能・価格比較（価格は1000人利用で同時100アクセスの場合）

	Windowsブラウザ方式	Linuxブラウザ方式 コネクションブローカなし構成 ※1	Linuxブラウザ方式 コネクションブローカあり構成
Ericom製品	Connect Enterprise ライセンス ¥3,500,000 年間保守 ¥805,000	Blaze ライセンス ¥2,004,000 年間保守 ¥360,700	Connect Enterprise ライセンス ¥3,500,000 年間保守 ¥805,000
IVEXダブルブラウザLinux ダブルブラウザ連携キット	不要	ライセンス ¥1,000,000 年間保守 ¥150,000	ライセンス ¥1,250,000 年間保守 ¥150,000
Microsoft RDS CAL	¥15,000,000	不要	不要
Connectサーバ	Windows Server 2012 R2 CPU : 4コア メモリ : 8 GB HDD : 100GB以上	不要	Windows Server 2012 R2 CPU : 4コア メモリ : 8 GB HDD : 100GB以上
ブラウザ仮想化サーバ	Windows Server 2012 R2 CPU : 16コア以上 メモリ : 64GB以上 HDD : 100GB以上	Redhat(CentOS) or Ubuntu Server CPU : 16コア以上 メモリ : 64GB以上 HDD : 100GB以上	Redhat(CentOS) or Ubuntu Server CPU : 16コア以上 メモリ : 64GB以上 HDD : 100GB以上
Windows中継サーバ	不要	Windows Server 2012 R2 CPU : 4コア メモリ : 8GB HDD : 30GB以上	不要
拡張性	無制限	1Linuxサーバまで ※2	無制限
印刷	○	△（ブラウザ仮想化サーバに プリンタドライバをインストールすれば可能）	△（ブラウザ仮想化サーバに プリンタドライバをインストールすれば可能）
ドライブ共有	○	△（カスタマイズ対応）	△（カスタマイズ対応）
クリップボード共有	○	○	○
5年間費用（ハード+ソフト）	¥25,000,000	¥8,000,000	¥12,000,000

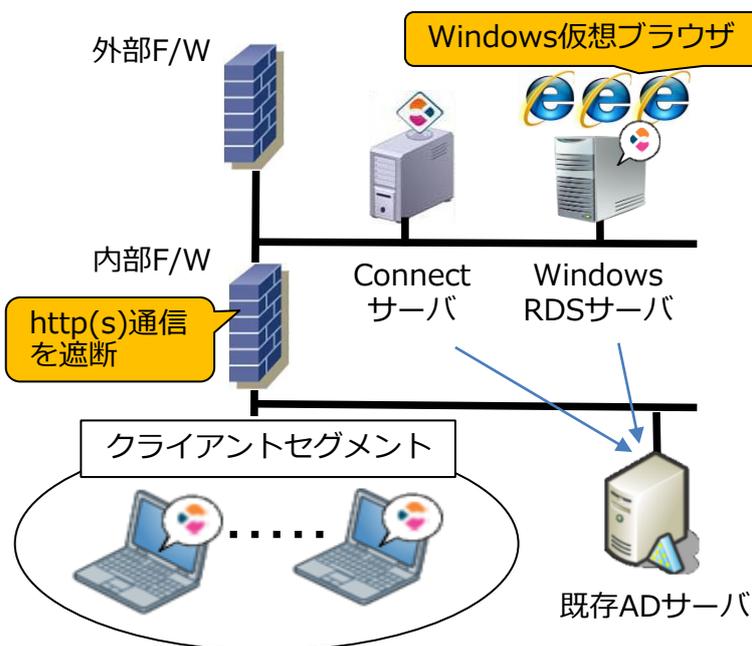
**2016年2月
リリース予定**

※1 コネクションブローカありへアップグレードする予定がある場合はコネクションブローカありのライセンスを購入ください。

※2 1Linuxサーバあたり同時100ユーザ処理できます。Linuxサーバを追加することはできますが、どのユーザがどのLinuxサーバに接続するかの管理は手動となります。

ソリューションのシステム構成比較

Windowsブラウザ方式



Linuxブラウザ方式（コネクションブローカなし）

